

KASAI データバンク	人口 / 49,209 (-78)	世帯数 / 17,047 (-5)	
	H21.2.28 現在 (前月比)	男 / 23,926 (-4)	女 / 25,283 (-37)
	2月の出生数 / 18人		死亡数 / 52人



▲県公館で授賞式(2/15)
岩井さん(左)と西脇さん

『お米甲子園2008』などで、加西市から二名が入賞

今年で5回目となる「お米甲子園2008～兵庫のおいしいお米コンテスト」において、西脇稔晃さん(玉野町)が応募総数543点から上位20点に入り、奨励賞を受賞されました。自身3度目の入賞です。また、今年で11回目となる「平成20年度お弁当おにぎりコンテスト」では、岩井瑞帆さん(笹倉町)が応募総数3,080点のうち、上位15点に見事入賞されました。このコンテストは、「お米」を通じて、今後の食生活のあり方や農業・農村の役割などについて考え、ごはんの素晴らしさを再認識してもらおうと兵庫県などが主催しています。

『さわやか市民賞』表彰

加西市はこの度、次の皆さんに「さわやか市民賞」をお贈りしました。この賞は、学術、芸術、スポーツ等の分野において輝かしい活躍をし、市のイメージアップに寄与した個人、団体を称えるものです。

■上田 聖(九会小6年)

第32回兵庫県小学生陸上競技大会(平成20年10月19日)の6年男子走り幅跳びで優勝(記録4メートル97)。

■牛尾立太郎(富合小5年)

「アフリカ子ども絵画コンクール」(朝日小学生新聞主催)で「朝日小学生新聞賞」を受賞。

■北条中学校陸上部(牛尾太郎、正中湧也、工藤大輝、高田航志、高瀬駿、中川大貴、吉村幸樹、小林順一、高瀬慧)

平成20年11月15日に開催された、第57回兵庫県中学駅伝競走大会において、同校男子としては30年ぶりとなる優勝。



▲受賞した牛尾くん(左)と上田くん



▲北条中学陸上部の皆さん

いちご農家の吉田さつきさんが県青年農業士に

常吉町でいちご栽培をされている、吉田農園の吉田さつきさんが、兵庫県青年農業士に認定されました。吉田さんは、かさい愛菜館運営協議会役員としても活躍、地域農業の発展に寄与されています。

市内の青年農業士は5名となり、今後も先鋭的な農業経営の取り組みや、また農業を志す若者の模範としての活躍が期待されます。



▲市内で初の女性の青年農業士に認定された吉田さん(2/9)

『第14回日本そば博覧会 in ほろかない』で、最優秀賞を受賞

そば打ちグループ『ゆかいな麺々』の山本早知子さん(北条町古坂)が、北海道で開かれたそば打ち技能審査会で最優秀賞を受賞、西日本では、初めてとなる快挙です。試験は、技術面だけでなく、そばを通じた活動実績も評価の対象。

「今後は、素晴らしい賞をいただいたことを励みにして、そばを通じて加西を元気にする活動に貢献していきたい」と山本さん。

最優秀賞の山本さん▶



■「加西“SOBA”ネットワーク」への情報とボランティアスタッフ募集

市内では、そば打ち講座が熱心に行われ、そばを栽培される方も非常に多くなりました。そこで、同ネットワークをつくり、市内の「そば」に関する情報収集と発信をしていきたいと考えています。

情報収集や機関紙発行などのお手伝いをしていただくボランティアスタッフを募集します。また、いろんな情報をお寄せください。

【申込・問合せ先】 中央公民館 ☎2151 FAX ☎1453

思い出のひな飾り。北条のまちなかで展示

北条町の羅漢寺では、石を使ったひな人形など、参拝客らが持ち寄った約70点のひな人形のコレクション展を開催中。また、地域を盛り上げようと、北条まちづくり協議会会長の松本正光さん(北条町北条)宅他2軒でも、玄関先など通りから見える場所に思い出の詰まったひな人形を展示されています。「観に来られる方が、家族の思い出について話す場になればいいですね」と松本さん。

それぞれ展示は北条節句祭りが行なわれる4月5日(日)まで行われます。



▲NHKより取材を受ける北条まちづくり協議会会長の松本さん(中央)。2/27にテレビ放映



▲図工室で、飛び出し坊やを作成中の西在田小児童

飛び出し注意。『飛び出し坊や』作成

2月24日、西在田小学校6年生24人が、交通安全の呼びかけやドライバーへの注意喚起のため、看板「飛び出し坊や」25体を作成。これは、加西市交通安全協会西在田支部(金澤牧博支部長・評議員22名)が毎年、同校へ作成依頼しており、今回で8回目。同支部のみなさんが、「飛び出し坊や」を形どり、児童が着色し、表情を描いて、一体ずつ仕上げました。

3月3日には、同支部が別に作成した25体と合わせ、計50体を西在田校区内の飛び出し危険箇所に、交通安全を祈願して設置されました。

大規模店舗で防火訓練実施

春の火災予防運動行事の一環として3月5日、イオン加西北条ショッピングセンターで防火訓練が行われました。同センターからは自衛消防隊や従業員約300人、消防署からは指揮隊や救助隊など5隊16名が参加。店内で火災が発生したとの想定のもと、大規模店舗での災害発生時における自衛消防組織の円滑な初動体制の確立や消防機関との連携強化を図りました。



▲消火器を使った初期消火訓練



▲梯子車を使った大規模消火訓練



▲塔の基壇跡が確認された野条廃寺跡

野条廃寺跡で平安初期の塔の基壇跡

野条町の市指定文化財「野条廃寺跡」で、市教育委員会市史・文化財室の調査により、現存する正方形の遺溝(1辺約10m、高さ約50cm)は、平安時代初期に建てられた塔の基壇跡とみられることが分かりました。

京都府立大学文学部の菱田哲郎准教授は、「今回の調査からは平安時代初めにはじめて塔が建てられたことが確かめられ、この時期に創建された寺院である可能性が高くなった。出土瓦からは、平安京や播磨国分寺との関係がうかがえ、当時において重要な位置を占めていたと言える」とコメントされています。

下里幼稚園、再開を願ってコンサート開催

下里幼稚園は昭和57年創立以来、今年で27年目を迎えますが、来年度は入園希望数が規定数に届かず、休園が決定となりました。そこで、今まで温かく支えてもらってきた地域の人々に感謝し、本年度最後のオープンスクールに合わせ、2月20日にプロのシンガーソングライター石田裕之さんを招きコンサートを開催しました。

園児、保護者とも自然に手拍子をしたり、口ずさんだりして、終始笑顔。「ぜひ、再開コンサートができますように!」と願いました。



▲石田裕之さんと記念撮影する下里幼稚園の園児たち